

End of Result Set

Generate Collection

Print

Entry 1 of 1

File: JPAB

Aug 2, 2000

PUB NO: JP02000210038A

DOCUMENT IDENTIFIER: JP 2000210038 A

TITLE: WRAPPING BAG FOR HAND ROLLED SUSHI OF POL BODY OF HAND ROLLED SUSHI

PUBN DATE: August 2, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

SUZUKI, KISAKU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

SUZUMO MACHINERY CO LTD

APPL-NO: JP11011997

APPL-DATE: January 20, 1999

INT-CL (IPC): A23 L 1/10; B65 D 30/28; B65 D 33/00; B65 D 85/50

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a wrapping bag capable of protecting hand rolled sushi from drying, deterioration, and attaching of dusts, sundry germs or the like, and at the same time whose sealed bag can be surely easily opened through one action.

SOLUTION: A transparent plastic made bag body 1 formed in a rough conical is prepared. The bag body 1 has an opening part 1c on its widening part at the upper end, a tapered part 1b on the lower side and a sealing part 1d on its narrowing part at the lower end, respectively. Further, the opening part 1c at the upper end of a bag body 1 in which a hand rolled sushi 17 or a rolled body 6 of a hand rolled sushi is placed is sealed through an appropriate closing treatment 16. On the other hand, an opening notch 2 and a tang-shaped piece 3 are formed on one side of the sealing part 1d at the lower end. A cut tape 5 for cutting the bag body 1 is formed on the upper side of the tang-shaped piece 3, or the bag body 1 is formed of a directional film in such a manner that the bag body 1 can be opened by pulling up the tang-shaped piece 3.

COPYRIGHT: ©2000, JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-210038

(P2000-210038A)

(43) 公開日 平成12年8月2日(2000.8.2)

(51) Int.Cl.

識別記号

A 2 3 L 1/10
B 6 5 D 30/28
33/00
85/50

F I

A 2 3 L 1/10
B 6 5 D 30/28
33/00
85/50

ターモコト* (参考)

F 3 E 0 3 5
L 3 E 0 6 4
C 4 B 0 2 3
E

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平11-11997

(22) 出願日

平成11年1月20日(1999.1.20)

(71) 出願人 591094262

鈴茂器工株式会社

東京都新宿区新宿2丁目3番15号

(72) 発明者 鈴木 喜作

東京都練馬区上支田1丁目19番8号

(74) 代理人 100069213

弁理士 平田 功

Fターム(参考) 3E035 AA10 AB10 BA08 BB08 BC02

BD04 CA07

3E064 AD21 BA22 BC13 BC18 FA01

HN05 HN31

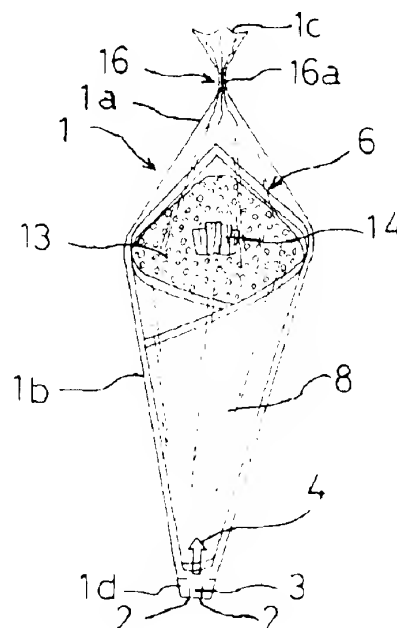
4B023 LC08 LE16 LP18

(54) 【発明の名称】 手巻寿司または手巻寿司巻包体の包装袋

要約

【課題】 手巻寿司の乾燥、劣化、塵芥、雑菌等の附着を防止すると共に、密封した袋本体をワンタッチで確実、容易に開封できる包装袋を提供する

【解決手段】 略円錐形状に形成された透明プラスチック製の袋本体1を設け、該袋本体1はその上端幅拡部に開口部1cを、下部側面にチーハ部1bを、下端幅狭部にシール部1dを各々形成し、さらに手巻寿司17あるいは手巻寿司巻包体16を収納した袋本体1上端の開口部1cを適宜の開鎖装置16によって密閉する一方、下端シール部1dの一方に開封用のチーハ2、2を舌状片3を設け、該舌状片3の上方に袋本体1の開閉用のカッター部分を装着するか、あるいは舌状片3を上方に引張ることにより袋本体1が開閉可能なように当該袋本体1を方向性ツルムにて形成して構成する



【特許請求の範囲】

【請求項1】 略円錐形状の手巻寿司あるいは同手巻寿司を包体へ収納可能な、略円錐形状の略円錐形状に形成された透明プラスチック製の袋本体を設け、該袋本体は、上端幅広部に開口部を、上部側面にテーパー部を、下端幅狭部にシール部を各々形成し、さらに手巻寿司あるいは手巻寿司を包体へ収納した袋本体上端の開口部を適宜の閉鎖位置において密閉する一方、下端シール部に一方に開口用のノッチと舌状片とを設け、該舌状片の上方に袋本体の切開用のカットテープを装着するか、あるいは舌状片を上方に引張ることにより袋本体が切開可能なように当該袋本体を方向性フィルムにて形成したことを特徴とする手巻寿司または手巻寿司巻包体の包装袋

【請求項2】 前記方向性フィルムとして一軸または二軸延伸フィルムを使用したことを特徴とする請求項1記載の手巻寿司または手巻寿司巻包体の包装袋

【請求項3】 前記閉鎖位置として加熱シールを用いたことを特徴とする請求項1記載の手巻寿司または手巻寿司巻包体の包装袋

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、手巻寿司または手巻寿司巻包体の包装袋に関する

【0002】

【従来の技術】従来、寿司職人が寿司店内で顧客の要求に応じて手巻寿司を即席で造ったり、あるいは消費者自身が家庭等で海苔シートで具入り寿司用シャリを略円錐形状に巻込んで手巻寿司を造ることはよく行われている。一方、業務用として造られた手巻寿司は、外周を方形の透明プラスチック製フィルムで円錐筒状に巻包してコンビニエンスストア、スーパーマーケット、デパートの食品売場、寿司ショップ等々において展示、販売されていることが多い。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来のプラスチック製フィルムを略円錐筒形状に巻いた手巻寿司の包装では、その上下両端が開口しているため、寿司用シャリの乾燥、劣化が早まったり、外気中の塵埃、雑菌等が入ることによる衛生上の問題があった。

【0004】

【目的】本発明は、上記した従来技術の有するこのような問題点を鑑みなされたもので、手巻寿司の乾燥、劣化、塵埃、雑菌等の附着を防止できると共に、ワンタッチにて確実、容易に開封できる手巻寿司または手巻寿司巻包体の包装袋を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明に係る手巻寿司または手巻寿司巻包体の包装袋は、略円錐形状の手巻寿司あるいは同手巻寿司巻包体へ収納可能なように同形状の略円錐形状に形成された

透明プラスチック製の袋本体を設け、該袋本体はその上端幅広部に開口部を、上部側面にテーパー部を、下端幅狭部にシール部を各々形成し、さらに手巻寿司あるいは手巻寿司巻包体へ収納した袋本体上端の開口部を適宜の閉鎖位置において密閉する一方、下端シール部に一方に開口用のノッチと舌状片とを設け、該舌状片の上方に袋本体の切開用のカットテープを装着するか、あるいは舌状片を上方に引張ることにより袋本体が切開可能なように当該袋本体を方向性フィルムにて形成したことを特徴とする。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態につき図面を参照して説明する。図1は本発明の一実施形態の使用状態を示す斜視図であり、図2は包装袋を示す正面図であり、図3は被包装物たる手巻寿司巻包体を示す斜視図であり、図4は同手巻寿司巻包体の展開した状態を示す平面図であり、図5は同上のA-A線矢視略断面図であり、図6は手巻寿司を示す斜視図であり、図7は他の実施形態の使用状態を示す斜視図である。

【0007】透明なプラスチックフィルム材よりなる袋本体1は図1及び図2等にしたように、上部側面に垂直部1aを、下部側面に内方へ絞こまれたテーパー部1bを、上端幅広部に円筒状の開口部1cを、下端幅狭部に四角形のシール部1dを各々有しており、略円錐形状に形成されている。

【0008】そして、この袋本体1下端のシール部1dの端縁中央にノッチ2、2を切設することによって舌状片3を形成すると共に、この舌状片3の上方延長線上に袋本体1を切開できるようにカット手段4（図1、図2中に矢印で示す）を設ける。

【0009】このカット手段4としては図1、図2では、舌状片3を上方に引張ることによって袋本体1を直線状に切開可能なように当該袋本体1を方向性フィルムにて形成されているが、図7に示したように袋本体1の舌状片3の上方延長線上にカットテープ4を装着したものであっても良い。

【0010】尚、上記方向性フィルムとしては、公知の一軸延伸フィルム、あるいは二軸延伸フィルムを利用することができる。

【0011】一方、上記袋本体1に収納される被収納物として手巻寿司巻包体6は図3及び図5に示したように、海苔シート7を収納する方形の外装フィルム8と内装フィルム9を有し、前記内装フィルム9は伏脇の固定フィルム10と広脇の剥離フィルム11とからなり、前記固定フィルム10は、前記外装フィルム8の一端に、その外側三辺をシール10a、10b、10cとして固定され、一方、前記剥離フィルム11は、前記外装フィルム8の他端にその外側三辺をシール11a、11b、11cとして固定され、且つ当該剥離フィルム11の非シール部分の一端は前記固定フィルム10の下方へ延出し、

手巻寿司部を上方と反対向きに折返すことによって折返し片11cを、前記基部11dに固定フィルム10の非ノッチ部12と互いに重なるように形成してなる包装用フィルム12を使用し、前記内装フィルム11における固定フィルム10の上面に折返し片11cの基部11dの上面に載置した寿司用シャリ13、上面に斜めに具材14を載せられているものを、当該固定フィルム10の外装フィルム8にシールされた一辺と交わる角部15から上方に向かつて当該包装用フィルム12を略円錐形状に巻込むことにより形成される一筒。巻込み後、展開しないように包装用フィルム12の他端角部を図示しないシールによって固定する。

【0012】このようにして形成される略円錐形状の手巻寿司包装体を上記した袋本体1内に収納したのち、上端の開口部16に閉鎖処置16を施すことにより密閉する。この閉鎖処置16としては、図示例では加熱シール16aを採用しているが、図示しない結束テープ、紐等を使用しても良い。

【0013】次に、以上のようにして手巻寿司巻包体を収納後密閉された袋本体1を開封する場合は、先ず、袋本体1下端のシール部1dの舌状片3を摘んで上方に引張れば、カット手段4として当該袋本体1が同方向へ切開可能な方向性フィルム（一軸または二軸延伸フィルム）にて形成されているときは袋本体1の上方まで略直線状に切開され、一方カット手段4として袋本体1にカットテープ5を装着しているときは当該カットテープ5に沿って袋本体1の上方まで略直線状に切開される。

【0014】そして、袋本体1を切開することによって取り出された手巻寿司巻包体6は、次のようにして開封し手巻寿司とする。先ず、手巻寿司巻包体6を図4及び図5に示したように展開すること、略円錐形状に形成された寿司用シャリ13を包装用フィルム12の固定フィルム10から折返し片11cの基部11dにかけて斜めに載置させる。

【0015】次いで、折返し片11cを図4の矢印に示す方向に引張り剥離フィルム11全体を外装フィルム8から剥してこれを除去した後、露出した海苔シート7を固定フィルム10側から同矢印方向へ引き出せば、略円錐形状の寿司用シャリ13は海苔シート7に対する粘着力及び接触抵抗により当該海苔シート7の一端（固定フィルム10側）に完全に載せられるため、海苔シート7の角部から斜めに巻込み（図6に示したように略円錐形

状の手巻寿司17が形成される。

【0016】尚、以上の実施形態では、袋本体1内に収納する被収納物として手巻寿司巻包体6を使用しているが、図6に示した手巻寿司17を直接袋本体1内に収納しても良い。

【0017】

【発明の効果】本発明は、以上のとおり構成されるものであるから、寿司用シャリに海苔シートを巻いた略円錐形状の手巻寿司乾燥、劣化を防止できると共に、外気中に含まれる塵芥、雑菌等の附着を確実に防止でき、因って手巻寿司の鮮度の保持及び衛生状態の保持に極めて効果的である。また、袋本体上端の舌状片を上方に向かつて引き裂くだけで当該袋本体を縦方向に、且つ略直線状に切開できる。つまり、袋本体内の収納物をワンタッチで確実、容易に開封し取り出すことができるため利便性が極めて高い。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態の使用状態を示す斜視図である。

【図2】本発明の包装袋を示す正面図である。

【図3】本発明の被包装物たる手巻寿司巻包体を示す斜視図である。

【図4】同上の手巻寿司巻包体の展開した状態を示す平面図である。

【図5】同上のA-A線矢視略示断面図である。

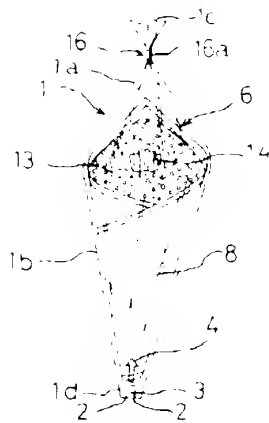
【図6】手巻寿司を示す斜視図である。

【図7】本発明の他の実施形態の使用状態を示す斜視図である。

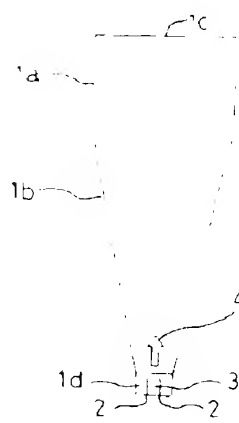
【符号の説明】

- | | |
|----|---------|
| 1 | 袋本体 |
| 1a | 垂直部 |
| 1b | テーパ部 |
| 1c | 開口部 |
| 1d | シール部 |
| 2 | ノッチ |
| 3 | 舌状片 |
| 4 | カット手段 |
| 5 | カットテープ |
| 6 | 手巻寿司巻包体 |
| 16 | 閉鎖処置 |
| 17 | 手巻寿司 |

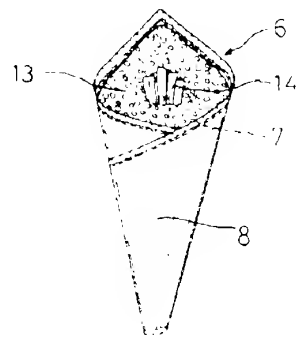
【41】



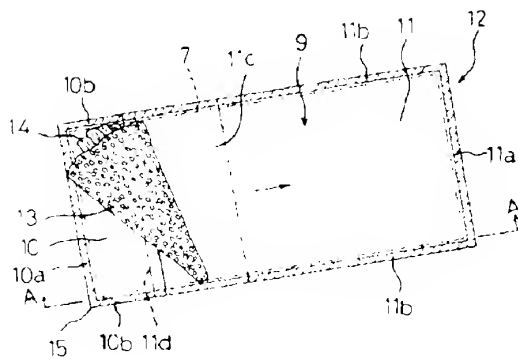
【42】



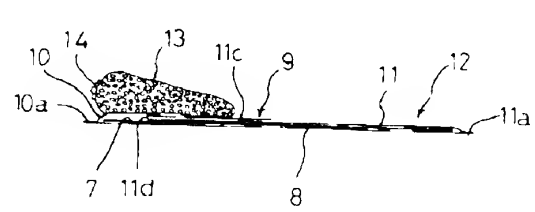
【43】



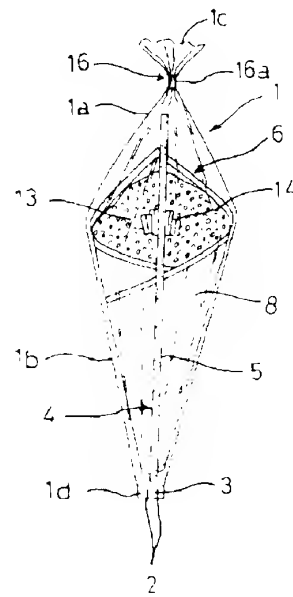
【44】



【45】



【47】



【46】

